

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者個々の特性を理解し、コミュニケーションをとることがうまくできていない。言語や聴覚など、個々に異なるコミュニケーションの阻害要因を克服できるようなコミュニケーション方法を見出す努力が出来ていない。	職員1人1人が、利用者一人一人に対しコミュニケーションの方法を持っていて、コミュニケーションに対する苦手意識を払拭できる。	グループホーム内で特にコミュニケーションをおろそかにされがちな利用者にスポットを当てどのようにコミュニケーションをとれるか検討する。また、苦手意識を持っている職員が苦手意識を払拭できるように働きかけをする。	6ヶ月
2		余暇時間やアイドルタイムを充実させ、何もやることないと利用者が感じる時間を少なくさせる。また、そのための技法として、音楽療法や回想法のスキルを磨く。	回想法や音楽療法、レクリエーションのスキルを向上させ、利用者が楽しく過ごす事が出来る様に、職員一人一人が、場の作り方雰囲気作り方、レクリエーションの運営などに関するスキルを向上させる。	本年度より、年間研修計画を立て、毎月様々なテーマで研修を実施しているが、次年度に関しては、日常生活におけるレクリエーションの具体的な手法に重点を置いて、スキルアップを図る	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。